

経営

釜石製鉄所電力工場 営業運転を再開

釜石製鉄所電力工場（東北電力（株）への電力卸供給、契約電力13・6万キロワット）が、7月1日に営業運転（契約電力のフル送電）を再開した。

同工場は3月11日に発生した東日本大震災により緊急停止し、石炭燃料を受け入れる専用岸壁、揚陸設備が損傷した。その後、今夏の電力需給逼迫の緩和に貢献するため、早期の再稼働を目指し、設備の健全性を確認するとともに、公共埠頭の活用などによる石炭燃料の物流体制の構築を進め、6月下旬から試験運転を行った。

同工場は岩手県で最大の出力規模を持ち、県内の一般世帯の電力需要の約4割をまかなうことが可能。電力不足が懸念される状況下、電力工場



釜石製鉄所 電力工場

の安定操業を通じ、電力の安定供給に努めていく。

総務部広報センター  
▲03-6867-1031  
2135-2146 2147

技術

世界初の  
直接鋳造チタンスラブ  
量産工業化技術の開発に成功

（新日鉄と東邦チタンニウム（株）は共同で、チタン薄板用直接鋳造チタンスラブ（DCスラブ<sup>TM</sup>）の量産工業化技術の開発に世界で初めて成功し、このたび東邦チタンニウムがDCスラブの量産を開始した。一般工業用途向けの主要製品であるチタン薄板は、大断面のインゴットをブレードダウン工程（分塊圧延または鍛造）で薄いチタンスラブとし、次工程の大型連続熱間圧延ラインで圧延、製造している。今回開発に成功したDCスラブは、電子ビーム溶解法を用いてスラブを直接製造することによって、インゴットのブレードダウン工程を省略し、工期短縮や省資源、省エネルギーを図ることができる。

総務部広報センター  
▲03-6867-2146



DCスラブ、チタンインゴット

環境

君津製鉄所  
宮脇昭先生の指導で植樹

君津製鉄所では7月4日、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏の指導の下で、新入社員による植樹を行った。今回の植樹は、2011年度より開始した新入社員教育「新日鉄学園」の一環で、新入社員ら231人が参加。日本やア



植樹指導する宮脇先生(右)

研修

商社女性研修会を  
初開催

新日鉄の鋼材を取り扱う商社10社の集まりである「十日会」は6月29日、初の女性研修会を君津製鉄所で開催した。商社と新日鉄より、鋼材の受発注業務などに携わる女性社員約40人が参加。生産工程や出荷作業を見学し、生産管理についての講義を受けた後、懇親会を行い交流を深めた。



君津製鉄所での講義の様子

ジアで植林や環境保全林の整備を続けている宮脇昭先生に指導いただき、シラカシ・シイ・タブなど921本の苗を植えた。君津製鉄所では、同所設立当時に植えられた苗が高さ30メートルを超すほどに成長し、多様な動植物を育てている。

総務部広報センター  
▲03-6867-2135

営業総括部  
▲03-6867-5033

## 紀尾井ホール 新日鉄文化財団 公演ご案内

### ＜クアルテットの饗宴＞ ジュリアード弦楽四重奏団

11月2日(水) / 19:00

ハイドン：  
弦楽四重奏曲第57番ト長調Op.54-1、  
Hob.Ⅲ-58「第1トスト四重奏曲第1番」

マルティニー：  
弦楽四重奏曲第5番(2004)

ベートーヴェン：  
弦楽四重奏曲第13番  
変ロ長調Op.130/133「大フーガ付」



ジュリアード弦楽四重奏団 © Steve J. Sherman

米国の名門クアルテットの2005年紀尾井ホール開館10周年記念特別公演以来の登場です。メンバーは世代交代を幾度か繰り返していますが、艶やかで緻密な「ジュリアード・サウンド」の伝統は連続と引き継がれ、常に高い評価と人気を誇っています。今回2009年紀尾井ホールで素晴らしい演奏を披露したジョセフ・リンが第1ヴァイオリニストに就任してからの初来日。名門の新時代到来に今また注目が集まっています。

#### スケジュール

9月29日(木)、30日(金) / 18:00

#### 紀尾井素踊りの會 特別公演 五代目 中村富十郎を偲んで

仕舞「花月」、清元「北州」、清元・筆曲「花月」  
中村鷹之資、尾上松緑(立方)、片山幽雪(監修)、  
藤間勘十郎(振付)、片山九郎右衛門(ほか(地謡))、  
清元延寿太夫(ほか(浄瑠璃))、清元梅吉(ほか(三味線))、  
福原徹彦(笛)、川瀬露秋(箏・胡弓)、  
堅田喜三久連中(囃子)

10月7日(金) / 19:00、8日(土) / 14:00

ペーター・レーゼ  
シュテファン・ザンデルリング &  
紀尾井シンフォニエッタ東京  
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 全曲ツィクルスⅡ  
ピアノ協奏曲第1番ハ長調Op.15  
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調Op.73「皇帝」  
ペーター・レーゼ(ピアノ)、  
シュテファン・ザンデルリング(指揮)、  
紀尾井シンフォニエッタ東京(管弦楽)

お問い合わせ・チケットのお申し込み先  
紀尾井ホールチケットセンター(日・祝休)

TEL 03-3237-0061

http://www.kioi-hall.or.jp

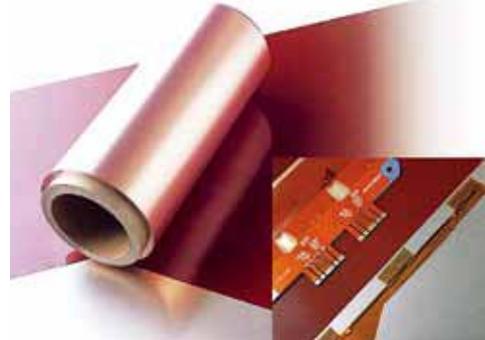
#### グループ

### 新日鉄化学(株) ポリイミド銅張積層板事業を一部譲り受け

新日鉄化学(株)は7月6日、三井化学(株)との間でポリイミド銅張積層板「ネオフレックス」事業の一部を譲り受けることで合意した。携帯電話やスマートフォンなどに使用されるフレキシブル回路基板用ポリイミド銅張積層板の製造・販売において、新日鉄化学がキャスト法で製造する

「エスパネックス」は世界市場に浸透している。今回三井化学のラミネート法も加えることで、回路実装材料事業の競争力強化を図る。譲り受けは2011年8月1日。

新日鉄化学(株) 総務部(広報)  
▲03-5207-7600



エスパネックス®

#### グループ

### 新日鉄ソリューションズ(株) 電力ピーク低減ソリューションを提供開始

新日鉄ソリューションズ(株)はオムロン(株)、日本オラクル(株)と共に、7月6日、懸念される電力不足状況において健全な会社経営を継続するため、生産工場を含む事業拠点の電力消費ピークの低減対策を支援し、生産活動の継

続と電力消費の省エネ化に役立つ仕組み「電力ピーク低減ソリューション」の提供を開始した。製造業の経営者、工場長や生産管理、設備管理、電力管理の責任者と担当者は、全社および各拠点の電力消費量の把握と電力ピークの分析

を行い、生産情報との対比によりピーク時の対処計画の策定が可能になる。

新日鉄ソリューションズ(株)  
総務部広報・IR室  
▲03-5117-6012

#### グループ

### 新日鉄住金ステンレス(株) 製造プロセスでレアメタル 回収設備の導入を決定

新日鉄住金ステンレス(株)は、ステンレス製造工程で生じる副生物からクロム、ニッケルなどのレアメタルを回収する設備を光製造所に導入することを決定した。経済産業省「レアア

ス等利用産業等設備導入事業」の補助を受け、レアメタル回収設備を新たに導入することで、副生物のほぼ全量をリサイクル使用し、年間で1千トン強のレアメタルリサイクル量拡大を可能にする。投資額は約50億円。完成時期は2012年9月。

新日鉄住金ステンレス株企画部  
▲03-3276-4853・4516・4848

#### グループ

### 新日鉄エンジニアリング(株) 『CSR報告書』を初発刊

新日鉄エンジニアリング(株)は7月1日、『CSR報告書』を初発刊した。製作に当たって環境保護や震災復興支援として、両面印刷の蛇腹式を採用し、紙の使用量を当初想定

の2部構成で写真とイラストを多用し、レイアウトにも工夫を凝らして読み物としても楽しめる内容に仕上げている。

の約3分の1に低減。有害な廃液を出さない水無し印刷を採用し、印刷加工は東日本大地震の被災地である福島市の印刷会社に協力依頼。内容面ではマップ編とカレンダー編

新日鉄エンジニアリング(株)  
総務部広報室  
▲03-6665-2366

